

一般財団法人 宇宙科学研究イニシアティブ

第6回 定時評議員会 議事メモ

平成31年2月20日19時00分から19時30分まで、倉敷アイビースクエア祝賀会会場脇の
小会議室において財団理事会と第6回定時評議員会を兼ねる形で開催しました。

出席者は、柴田一成評議員、藤原洋代表理事、荻野司財団理事、舞原俊憲専務理事、今庄啓二
監査役および金澤義剛事務局長、の6名でした。

事前に評議員の方々には平成29年度の活動報告書と財務諸表を送付してご意見を伺って
いましたが、狼評議員から報告書の内容のご承認を戴き、また、今庄監査役からは、財務報告の
監査結果について問題なしとのご連絡がありました。さらにやや事後ではありましたが、吉田
評議員からは以下に議事録として記録された「今後の方針」についてご承認とのメールをいた
だきました。

<議事録案>

今回の評議員会は、平成29年度の財団法人SARIFの活動報告と財務報告、 および今後
の方針についてご議論いただくことでした。

平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月30日）は、財団としての組織的な活動
はほとんどなかったため、活動報告のワードファイル文書を事前にお送りしただけでしたが、
狼委員からは報告内容をご承認いただけるとのメールでのご返事をいただき、また、財務報告
については今庄監査委員がチェックされて、特に問題ない旨の事前のご連絡をいただいております。

今後の進め方については、財団法人の主要な目的となっていた新しい 分割鏡方式の新技术
望遠鏡（せいめい望遠鏡）が完成したことで、今後、 新望遠鏡によるアウトリーチ活動（例え
ば望遠鏡を使った観望会や、関連イベントの企画）に対してスポンサー的な支援を行うのが適
当であろうということになりました。具体的には新天文台側で企画されるイベント実施に必要な
費用を支援するスポンサー役として共催することで、残りのファンドを支出することが了承
されました。

注：この議事メモは事務局長から評議員と理事・監査役の皆様にお送りしてご異存がない
ことを確認できましたら、正式に議事録として残すことにいたします。